

地域の方を前に、堂々とした発表をしてくれました

尾久地区「中学生の主張」発表会 10月5日(土)

10月5日(土)、アクト21ホールにて、第42回尾久地区「中学生の主張」発表会が荒川区青少年育成尾久地区委員会の主催で開催されました。本校からは、2年生 湯本 理さんが演題「いのちの重さ」で、1年生 田中 和奏さんが演題「下人の外見と内面」でそれぞれ発表しました。



発表に際しては、「自分はなぜそう思ったのか」「どうしてそういう考えになったのか」、そうしたことを自分自身に問いかけ、突き詰め、それを伝えるように言葉でまとめるのですが、日頃はあまり行わないことでもあります。しかし、発表した4校の生徒は、自分のテーマについて、深め、考え、調べ、整理し、言葉を選ぶ、そうした様子がかがえ、本校の2名も地域の方を前に、堂々とした発表をしてくれました。お疲れさまでした。